

○水生生物モニタリング調査結果一覧（阿武隈川河口沖K）

＜阿武隈川河口沖K 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
K-1	○	○	○	○	○	○
K-2	○	○	○	○	○	○
K-3	○	○	○	○	○	○

＜阿武隈川河口沖K 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻(水)	時刻(泥)	水温(℃)	泥温(℃)	性状	色相	混入物	全水深(m)	透明度(m)		
K-1	38.04562°	140.92821°	H26.9.16	—	10:15	—	21.5	細砂	5Y4/3	なし	—	—		
K-2	38.04536°	140.94004°		8:42	9:40	22.5	20.2	シルト混砂	10Y3/2	なし	16.6	4.2		
K-3	38.04583°	140.95187°		—	9:15	—	19.3	砂混粘土	10Y3/1	なし	—	—		

＜阿武隈川河口沖K 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
K-2 (表層)	38.04536°	140.94004°	H26.9.16	8:42	8.4	1.2	1.8	9.3	4,640	29.20	1.6	3	2.2	0.0085	0.024	—
K-2 (下層)	—	—		8:48	8.0	0.6	1.0	4.0	5,200	33.22	1.0	5	3.0	0.0016	0.0086	0.0014

＜阿武隈川河口沖K 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
K-1	38.04562°	140.92821°	H26.9.16	10:15	7.1	210	26.4	1.8	1.4	2.744	0.0	0.1	13.8	81.7	0.8	3.6	0.17	2	35	110	—
K-2	38.04536°	140.94004°		9:40	7.4	194	36.1	3.3	3.9	2.738	0.0	0.1	1.9	61.8	14.3	21.9	0.11	2	82	300	N. D. (0.17)
K-3	38.04583°	140.95187°		9:15	7.4	171	49.3	5.8	11.3	2.702	0.0	0.2	0.4	20.4	50.9	28.1	0.024	2	210	660	—

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜阿武隈川河口沖K 分析項目 水生生物＞

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	種名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			Cs-134 (Bq/kg-wet)	Cs-137 (Bq/kg-wet)	Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	胃内容物	測定部位			
阿武隈川河口 周辺海域	—	—	—	H26.9.3	節足動物	軟甲	十脚	ツツガニ	<i>Portunus trituberculatus</i>	ガザミ	15	3.5	成体	—	—	N. D. (0.26)	0.43	0.059
					脊椎動物	硬骨魚	鱈	鱈	<i>Platichthys stellatus</i>	ヌマガレイ	3	2.1	成魚 (5歳)	—	内臓除去	0.51	1.4	—
					脊椎動物	硬骨魚	鱈	鱈	<i>Paralichthys olivaceus</i>	ヒラメ	2	4.8	成魚 (4歳)	魚類	内臓除去	0.69	2.2	0.019
					脊椎動物	軟骨魚	ガングエイ	ガングエイ	<i>Okamejei kenojei</i>	コモンカスベ	5	5.6	成魚	魚類	内臓除去	0.61	2.0	N. D. (0.012)

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：成長段階の赤字記載は、鱈または耳石による年齢査定の結果を示す。

※6：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※7：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※8：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※9：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。